



概要

沼田町は、3系統の町営バスが町内の公共交通の中心となっているが、運行間隔の長さから利便性が低いほか、町営バスではカバーしきれない公共交通空白地域がみられ、特に、高齢者等の外出手段が限定された状況にある。このため、公共交通の利便性の向上を目指し、バス路線の再編、スクールバスの活用、デマンドバス導入等の調査検討を実施する。

地域公共交通の現況

- ・JR留萌本線(石狩沼田駅、恵比島駅、真布駅)
- ・(株)空知中央バス(沼田駅前 - 深川市立病院前)
- ・町営バス(1系統)
- ・スクールバス(4本)

地域公共交通の課題

- ・町営バスの運行間隔が長い(利便性が低い)
- ・公共交通空白地域の存在
- ・高齢者等の外出対策

調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)
- ・公共交通の利便性向上の方策の検討

策定する地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・バス路線の再編の検討
- ・スクールバスの活用の検討
- ・デマンドバスの導入の検討



沼田町地域公共交通活性化協議会 調査事業の取組状況

主な調査の実施内容

協議会開催状況

2回開催

分科会等開催状況

幹事会1回

左記開催状況は H21.1.30現在

現況交通実態調査

・各種統計資料による人口、少子高齢化状況、交通概況等及びバス利用や主要5施設への交通利用の実態調査を実施。(H20.9.17)

利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)

・町内全世帯(1,461世帯)を対象に、交通行動、ニーズ把握を目的としたアンケートを実施。(H20.11.13~26日)

公共交通の利便性向上の方策の検討

・公共交通空白、不便地域解消に向け、町内循環バス、デマンド交通等の新たな交通システムの導入を検討。
・町営バス・JR・空知中央バスとの乗り継ぎ改善、中心市街地活性化に寄与する公共交通の充実策、利用促進策の検討。

その他の調査等

・小中学校教諭を対象に、児童、生徒の通学に関する問題点、利便性向上を目的としたアンケートを実施。

予定している連携計画の内容

新たな交通システムの導入(実施主体:沼田町、実施時期:H21~23)

・既存路線の見直し、再編を行い、町内2地区を対象に循環型コミュニティバス及びデマンド交通の導入に向けた実証運行の実施。

町営バスの乗り継ぎ改善(実施主体:沼田町・交通事業者、実施時期:H21~23)

・沼田高校の廃校(H21)による通学需要増への対応、町営バスの利便性向上のため、空知中央バス・JRとの乗継改善を図る。

中心市街地における公共交通利用促進事業(実施主体:沼田町、沼田町商工会、地元商店街、交通事業者、実施時期:H21~23)

・地元商店街と連携した公共交通の利用促進策の導入。

公共交通利用促進の取組(実施主体:沼田町、H21~23)

・利用促進ツールの作成、普及啓発・広報活動の実施。

自己評価のポイント

利用実態調査、全世帯アンケート調査、小中学校教諭へのアンケート調査等により必要な調査を行うとともに、法定協議会において幹事会も開催しながら合意形成を図っている。

二次評価のポイント

一部の事業についてはさらに検討の具体化を進めるようアドバイスする。